

#### 注意

- ※取付作業はエンジンを停止させ、専用設備をもった安全な場所で行って下さい。
- ※作業前に必ずバッテリーのマイナス端子を外して下さい。
- ※作業はエンジンが十分に冷えた状態で行って下さい。エンジンが高温の状態にて作業した場合、火傷等の危険があります。
- ※本製品に損傷を発見した場合は直ちに作業を中止して下さい。
- ※本製品は精密な電子機器です。落としたり、配線を引っ張ったりしないで下さい。
- ※取り付け後、エンジン不調等の障害が発生した場合は、直ちに使用を中止して下さい。
- ※本製品はエアフロ（圧力）センサー信号制御を目的に製作されています。配線接続及び、使用方法を間違えると車両の不調・破壊・事故をきたす場合がありますので慎重に取り扱ってください。
- なお、何かの原因で車両の不具合・事故が発生しても弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承下さい。
- ※誤った使用、分解・改造されたの使用、他社製品との併用によるトラブルは、その原因の内容に関わらず、一切クレームの対象となりませんのでご注意下さい。
- ※本製品の取り付けには、専門知識を熟知した技術者を必要とします。一般の方は専門の業者に依頼して下さい。
- ※本製品及びハーネスを高温度もしくは水のかかる場所に設置しないで下さい。故障・火災の原因になります。
- ※本製品は車両の電子制御に関わる製品です。接続位置・接触不良のないように慎重に作業を行って下さい。
- ※ネジの締め忘れ、ダクトの吻合の不具合がある場合は、エンジンが不調をきたす場合があります。慎重に作業を行って下さい。
- ※ダクトにネジ、ゴミ等が落下してしまった場合、エンジン破壊の可能性もあります。慎重に作業を行って下さい。
- ※配線を傷つける、折り返す、ねじめる、加工する、重い物を載せる、熱湯湯へ近づける、高温部に接触させるなどしないで下さい。
- 断線やショートにより、火災や感電、事故の原因になります。また、配線を車両やネジ・クリップ等へ挟み込まないように通して下さい。
- ※本書に従って正しく配線・取り付けして下さい。火災・事故等の原因になります。
- ※本製品は運転の妨げにならない場所へ固定して下さい。
- ※走行中に本製品を操作しないで下さい。運転操作の妨げになり、事故の原因となります。
- ※配線はファンベルト等に干渉しないようにし、点火系、インジェクター系、アンプ系、HID等のノイズが発生しやすい配線の近くは絶対に避けて下さい。誤作動する危険があります。
- ※エンジンを始動させ、異音、不調等が発生した場合はすぐにエンジンを停止させ、原因を解決してからリング・SDI ミニコンを使用して下さい。
- ※走行中などでエンジンチェックランプが点灯した場合は、車両を安全な場所へ移動し一旦停車させ、エンジン停止し、1～2分後にノーマルセッティングまたはノーマル復帰状態にして再始動させて下さい。
- ※SDI ミニコンは純正状態でレスポンスが向上するセッティングになっています。エアクリーナーやマフラー等が他社製品等に交換されている場合は本来の性能を発揮できない恐れがあります。

ご用意していただく工具	キット内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>・検電テスター・ペンチ・内張り剥し</li> <li>・ドライバー</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ミニコン本体 ×1 ・レスポンスリング ×1 ・センサーハーネス ×1</li> <li>・IMC ハーネス ×1 ・結束バンド ×4 ・両面テープ ×1</li> </ul>

～セッティングコンセプト～  
 実用域のハーブアクセルでの切れの良い加速に重点を置き、セッティングを試みました。高速域がノックリタードを回避する為ノーマル値をインプットしてあります。

#### SDI ミニコン 取付

##### 〈取り付け作業の注意〉

- 取り付け作業はエンジンキーを抜いてから約5分以上経過してから行って下さい。完全に車両電源がシャットダウンしないうちに作業を行った場合、エンジンチェックランプが点灯します。
- 本体・配線は点火系・インジェクター系・アンプ系・HID等のノイズが発生しやすい配線の近くは避けて下さい。ノイズにより誤作動する危険があります。
- 接続は確実に行って下さい。誤接続すると破壊する恐れがあります。
- 防水処理は確実に行って下さい。故障等の原因になります。
- センサーハーネスはエンジンルーム内で使用する為、長期間使用された場合ハーネスが劣化し接触不良を起こす可能性があります。使用中にエンジン不調が発生した場合は新品と交換する事を推奨致します。

**1**

※作業前にバッテリーのマイナス端子を外して下さい。

1. 運転席側の座席を固定しているボルト4箇所を外し、座席を取り外して下さい。

**2**

1. 1～3型の場合は、矢印方向にスライドさせECUを取り外して下さい。

2. 4型の場合は、カバーのロックを取り外し、配線カバーを取り外して下さい。

**3**

1. 下図を参考に配線を接続して下さい。信号線はカットし、ギボシ加工をして下さい。  
 (配線確認車両) ハイエース スーパーGL H18年式    ハイエース スーパーGL H26年式

**4**

1. 左図を参考に配線を通し、本体をセンターパネル下に固定して下さい。  
 (弊社推奨位置)  
 ※本体は容易にモード切替が出来る位置に固定することをお勧め致します。

2. 取付後は、5分以上アイドリングを行って下さい。

	1～3型	4型	商品側
①電源線	赤/黒	青	赤
②信号線	黄/緑	黄	ECU側：緑、車両側：白
③アース	若草/赤	青	黒

●：スプライス  
 ▲：オスギボシ  
 □：メスギボシ

#### レスポンスリング 取付

##### 〈取り付け作業の注意〉

- 取り付け作業はエアフロセンサーのコネクタを抜く場合があります。エンジンを停止させ5分以上経過してから作業を行って下さい。エンジン停止直後にカプラーを抜いた場合、エンジンチェックが点灯してしまう場合があります。

**1**

1. 助手席下のカバーを捲り、2箇所あるロックを解除して下さい。

2. エンジンカバーを持ち上げて下さい。

**2**

1. ダクトを固定しているネジ2箇所を外し、バンドを締めダクトを浮かせて下さい。  
 ※ネジ・ゴミ等をスロットル内に落とさないように注意して下さい。

2. リングを取り付けて下さい。  
 ※リングには装着方向があります。小さい径の部分がスロットル側になります。

3. リングを取り付けた状態で、ダクトを置くまで差し込み、バンドを締め、ダクトを固定して下さい。  
 ※リングの厚み分、ダクトが浮いた状態になりますが問題ありません。

#### 動作確認方法

##### 〈SDI ミニコン動作確認方法〉

- 本体が正常に動いているか本体横のLEDの状態とエンジンの吹き上がりにて確認して下さい。
- イグニッション ON で LED が点灯するか確認して下さい。
- エンジンが正常に吹き上がるか確認して下さい。

##### 〈レスポンスリング動作確認方法〉

- エンジンが正常に吹き上がるか確認し、エンジンチェックランプが点灯しないか確認して下さい。
- エンジンが正常に吹き上がるか確認して下さい。
- エンジンチェックランプが点灯していないことを確認して下さい。

#### 設定方法

##### 〈設定方法〉

- SDI ミニコンは本体横の切替スイッチにより下記の3モードの設定が出来ます。最適なモードに設定して下さい。

MODE	N / P / M	
N (NORMAL MODE)	ノーマルセッティング (純正状態)	
P (PERFORMANCE MODE)	レスポンスリングを装着していない状態でのエンジンフィードバックを向上させたセッティング	
M (MAXIMUM MODE)	レスポンスリング装着状態でエンジンフィードバックを向上させたセッティング	

##### 〈SDI ミニコンノーマル復帰方法〉

- 万が一、エンジン不調等の症状やエンジンチェックランプが点灯する場合は、下記の要領にてノーマル状態へ戻して下さい。
  - 1. センサーハーネスの4種カプラーと IMC ハーネスの4種カプラーを取り外して下さい。
  - 2. センサーハーネス側へノーマル復帰カプラーを接続して下さい。
- ※ノーマル復帰しても不調状態が直らない場合は、センサーハーネスを取り外し、完全にノーマル状態に戻して下さい。完全にノーマル状態に戻しても直らない場合、SDI ミニコンの制御とは関係の無い部分の原因が考えられます。

#### トラブルチェック

走行中などでエンジンチェックランプが点灯しエマージェンシーモードに入り、エンジンが吹き上がらない状態になった場合は、車両を安全な場所へ移動し停車させ、エンジンを停止し1～2分後にミニコンをノーマル復帰をして再始動させて下さい。  
 ※ノーマル復帰をしても不調が直らない場合は、センサーハーネスを取り外し、完全にノーマル状態に戻して下さい。完全にノーマル状態にしても直らない場合、SDI ミニコンの制御とは関係の無い部分の原因が考えられます。

##### 〈アイドリング不調〉

- センサーハーネスの接続等を再確認して下さい。
- アイドリング学習が必要な可能性があります。カーディーラー様等にご確認下さい。
- ダクトが確実に挿入されているか、エア漏れがないか、再確認して下さい。

##### 〈エンジンチェックランプ点灯、吹き上がらない〉

- センサーハーネスの接続等を再確認して下さい。
- エアクリーナーが詰まっている場合、O2センサーが異常と判断しエンジンチェックを点灯させる場合があります。エアクリーナーを清掃及びエアクリーナーの新品交換を行って下さい。

##### 〈純正部品の取り外しができない〉

- お近くのカーショップ、カーディーラー様にお問い合わせ下さい。